Record of Lodoss War
Deedlit in Wonder Labyrinth

SPECIAL BOOK

Illustration by 出渕 裕

CONTENTS

P.04

WORLD

P.10

CHARACTERS

P.16

in LABYRINTH

P.30

CONTRIBUTION

Illustration by 出渕 裕

Record of Lodoss War

WORLD | ロードス島戦記の世界

Record of Lodoss War
Deedlit in Wonder Labyrinth
SPECIAL BOOK

『ディードリット・イン・ワンダーラビリンス』（以下『DiWL』）の作品世界を構築する原作、「ロードス島戦記」の世界観を解説する。

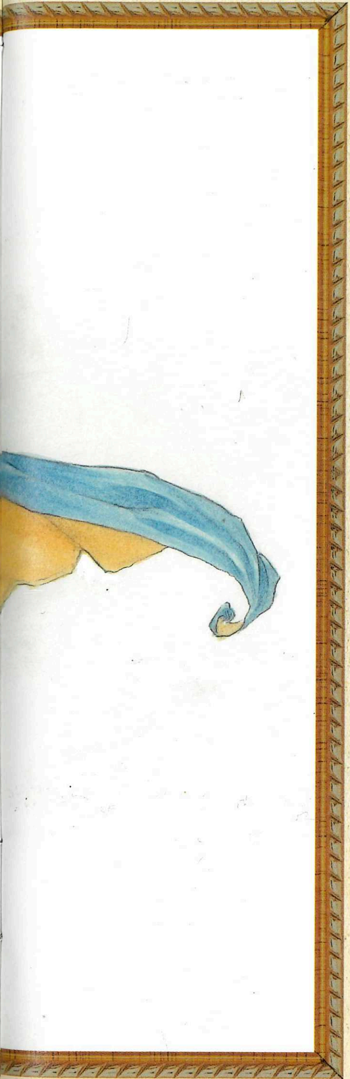


Illustration by 出渕 裕

Introduction

ロードスと言う名の島がある。

遥か昔、神々の戦いの末、破壊の女神カーディスの呪いに蝕まれ、最後の力を振り絞った大地母神マーファによりアラクレスト大陸から切り離された島だ。

かくして、ロードスはマーファの墓所として豊穣が約束された土地であると同時に、カーディスが滅びた場所として魔物が跋扈する暗黒の地となった。

それ故、人々はこの島をこう呼ぶ。

——“呪われた島”ロードス、と。

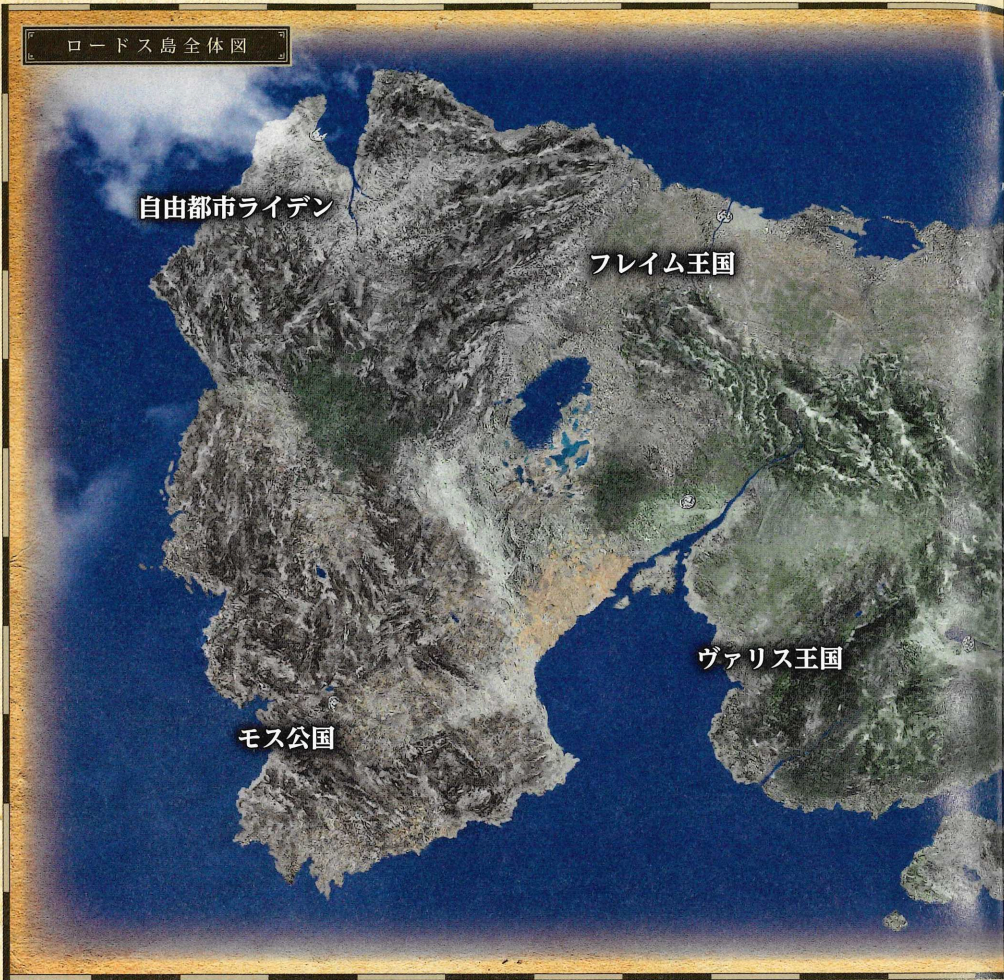
ロードス島戦記とは

「呪われた島」ロードスを舞台にした、英雄たちの興亡と冒険を描いたファンタジー作品。日本のファンタジーライトノベル界の金字塔とも言われる。作品として最初に公表されたのは1986年で、パソコン雑誌『コンプティーク』(KADOKAWA刊）に掲載されたテーブルトークRPG（TRPG）のプレイを紹介する記事としてスタートした。このリプレイ連載が人気を集め、KADOKAWAから水野良氏が小説を刊行。大ヒットし、アニメやゲームなど多数のメディアミックスが展開された。様々な言語に翻訳されており、世界中に多数のファンがいる。“エルフの耳が細長く尖ったもの”という印象を決定づけたのが、この小説で挿画を担当した出渕裕氏によるディードリットとも言われている。

『ロードス島戦記ーディードリット・イン・ワンダーラビリンスー』は、ロードス島戦記30周年記念の二次創作作品である。

©KADOKAWA CORPORATION 2020 ©水野良・グループSNE
イラスト：出渕裕

地理と国家【6つの国と1つの都市国家】



自由都市ライデン

造船技術や航海術に長けた民が集い、新王国暦168年にライデン王国として建国。しかし商人が自治支配を求め反乱を起こし、王国としての体制は274年に滅亡した。のちに有力な豪商たちが評議会を結成し、ロードスで唯一の自由都市国家として特殊な統治体制を確立。現在はロードス島最大の商業都市として繁栄している。

モス公国

別名"竜の王国"。モス地方に存在するいくつもの小国によって構成される連合国家として、新王国暦259年に成立した。小国たちは"竜の盟約"と呼ばれる協定を結び、ライデンによる侵攻に対抗した。しかし、建国以来国内の権力争いが絶えないという一面もある。公国内にある"最も深き迷宮"の上には、六英雄の一人であるウォートが塔を建てて住み着いている。

ヴァリス王国

“神聖王国”の名で知られる、ロードス島の中央に位置する強国。かつてこの地にはエルベクという王国があったが、圧政によってファリス教団が反旗を翻し、5年に及ぶ戦いの末に滅亡。新王国暦251年に至高神ファリスの教えを国の法とする新しい王国を建国した。後世で英雄戦争と呼ばれるマーモ軍との戦いでは、ロードス連合軍の中核を担った。

アラニア王国

新王国暦101年に建国されてから400年余りの歴史を数え、“千年王国（ミレニアム）”の名をもって称えられるロードス島最古の王国。王都アランはドワーフ族の職人がカストゥール王国時代の建築様式を参考として作りあげた美しい街並みを誇る。国の最北端にある村ターバには、大地母神マーファを奉じる大神殿があり、数多くの巡礼者が訪れる。

カノン王国

森と湖に彩られた美しい国。ロードス島においてアラニアに次ぐ長い歴史を誇る。恵まれた土壌を背景に、人々は豊かで平穏な生活を送っていたが、ヴァリス王国の前身であるエルベク王国の侵攻に対抗するため、新王国暦229年に統一国家を樹立し王国となった。しかし、新王国暦510年にマーモ軍の侵攻によって滅亡。以降カノンの地は、マーモ帝国の支配下にある。

マーモ帝国

カノン地方の南の海上に浮かぶマーモ島は、伝承により、破壊を司る女神カーディスが朽ち果てた場所とされ、現代でも“暗黒の島”と呼ばれる。この島は、古来より妖魔の勢力が強く、人の支配を受け付けない場所だったが、六英雄の一人であるベルドが生まれ故郷の闇の森の妖魔を従え、わずか3年でマーモ統一を成し遂げて帝国を興した。

フレイム王国

ロードス島の中北部に広がる、風と炎の砂漠の西端に位置する。建国は新王国暦506年と、ロードス島でもっとも若い国。かつてこの地では風の部族と炎の部族が争っていたが、風の部族がのちにカシュー王となる傭兵を雇ったことにより勝利し、フレイムを建国した。新興国ながら、ここ数年で目覚ましい発展を遂げ、ロードス島最強国へと成長しつつある。

その他の独立国

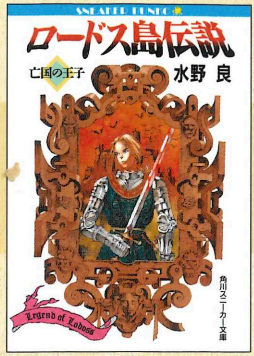
ロードス島では、人間たちが国家として制圧している地域以外にも、エルフやドワーフらがそれぞれ独自の国家や集落を構えている。代表的なものが、ハイエルフの居住地である“帰らずの森”、エルフの集落でもっとも広域な“鏡の森”、ドワーフが独立国家を構える“鉄の王国”と“石の王国”だ。

主な歴史年表

新王国暦（年）

- 473　魔神戦争勃発　対応する作品 ロードス島伝説
- 474　六英雄によって魔神王が討伐される　対応する作品 ロードス島伝説
- 492　「ロードス島戦記」主人公パーン誕生　対応する作品 ロードス島戦記
- 510　英雄戦争　対応する作品 ロードス島戦記
- 510~524　パーンら、ロードス島各地で活躍　対応する作品 ロードス島戦記
- 525　邪神戦争　パーン、「ロードスの騎士」の称号を得る　対応する作品 ロードス島戦記
- 527~529　第二次邪神戦争　対応する作品 新ロードス島戦記
- ???　ディードリット、謎の迷宮を探索　対応する作品 ロードス島戦記　ディードリット・イン・ワンダーラビリンス
- 6??　フレイム王国、ロードス島の統一のため戦争を開始　対応する作品 ロードス島戦記　誓約の宝冠

Illustration by 甲斐千鶴



ロードス島伝説

初代『ロードス島戦記』の前日譚にあたる物語。『ロードス島戦記』において伝説として語られる、若かりし頃のファーンやベルド、ニースら後世で“六英雄”と讃えられた若者たちの戦いを描く。主人公は、六英雄らと行動をともにしつつも後世に名を残せなかった無名の英雄ナシェル。全5巻のほか、短編集も1冊刊行された。

©KADOKAWA CORPORATION ©水野良・グループSNE
イラスト：山田章博

新ロードス島戦記

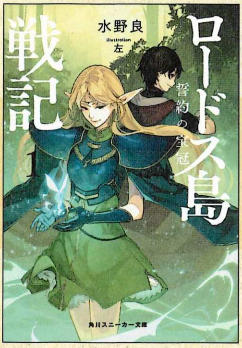
初代『ロードス島戦記』全7巻の直後を舞台とした続編。初代の6～7巻で主人公を務めたスパークを中心に、“邪神戦争”の1年後の世界を描く。短編集の『新ロードス島戦記 序章 炎を継ぐ者』を皮切りに、全7冊が刊行された。初代から時代は移ってはいるものの、“ロードスの英雄”と讃えられるようになったパーンなどお馴染みの顔ぶれも登場。

©KADOKAWA CORPORATION ©水野良・グループSNE
イラスト：美樹本晴彦

ロードス島戦記
ディードリット・イン・ワンダーラビリンス

『ロードス島戦記　誓約の宝冠』の舞台へと直接つながる世界観を有した、ディードリットを主人公とするアクションゲーム。時系列としては『新ロードス島戦記』のあとから新作『誓約の宝冠』に繋がる間の期間となる。ディードリットがともに旅したパーンやエト、ウッドチャックはもちろんのこと、カーラやベルドなど様々な『ロードス島戦記』の著名キャラクターが登場する。『DiWL』の世界がどのように『誓約の宝冠』に繋がるのかはその目で確かめてほしい。

※ジャケット画像はNINTENDO SWITCH版のものです。



ロードス島戦記　誓約の宝冠

小説版のオリジナルシリーズは『～伝説』『～戦記』『新ロードス島戦記』の三部作としてひとつの完成を見ているが、『新ロードス島戦記』から100年後を舞台とし、シリーズの正統な血脈をつないだ新たな作品。マーモ王の末裔・ライルと、“伝説のハイエルフ”による新時代の冒険譚が描かれる。現在は1巻が発売中、以下続刊予定。

©KADOKAWA CORPORATION ©水野良・グループSNE
イラスト：左

Record of Lodoss War

CHARACTERS

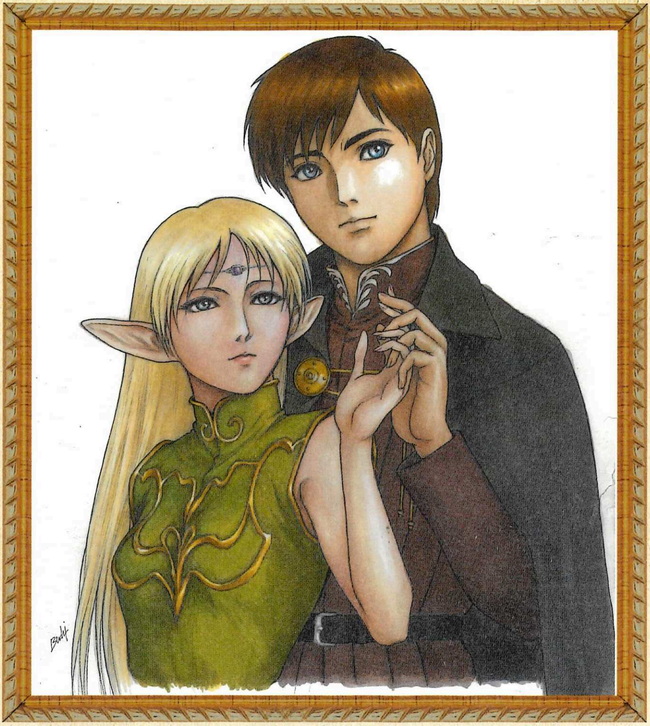
キャラクター紹介

Record of Lodoss War
Deedlit in Wonder Labyrinth
SPECIAL BOOK

「ロードス島戦記」の登場人物のうち、『DiWL』に登場するキャラクターを紹介。出渕裕氏のデザインを、精緻なドットで表現している。

Illustration by 出渕 裕

Illustration by 出渕 裕



Deedlit ［ディードリット］

ロードス島の東部に広がる“帰らずの森”出身の誇り高いハイエルフの少女で、寿命がなく“永遠の乙女”と呼ばれる、小説「ロードス島戦記」のヒロイン。上位精霊をも使役する優れた精霊使いであると同時に、卓越した剣士でもある。人間に興味を持っていたディードリットは、故郷の森を旅立ち、パーンたちと出会って行動をともにする中で成長し、パーンと惹かれあうようになる。

Parn ［パーン］

小説「ロードス島戦記」の主人公。アラニア王国ザクソンの村に住んでいた、正義感が強く、血気盛んな若者。親友のエト、スレイン、ギムとともにザクソンを旅立ち、ハイエルフの少女ディードリットやウッド・チャックと出会う。歴史の裏側からロードス島を操って来た魔女カーラを追いかけるうち、一人前の戦士として成長する。のちに“自由騎士”、“ロードスの騎士”などの称号を贈られる伝説的な人物となる。

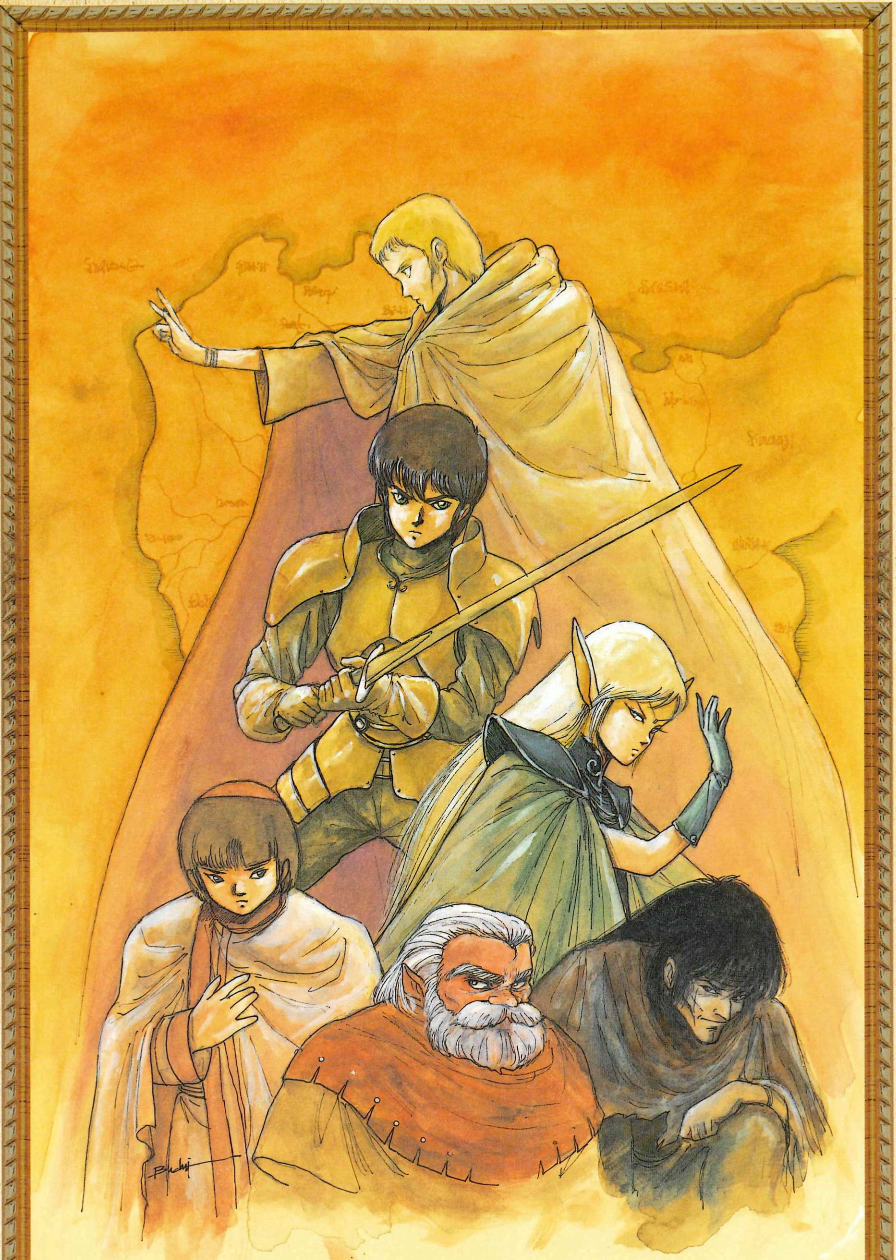


Illustration by 出渕 裕

Eto ［ エト ］

パーンの幼馴染であるファリス神官。パーンの旅に同行した。旅の途中でカーラの魔の手からヴァリス王国の王女フィアンナ姫を救ったことから、ファリス大神殿で最高司祭を務めるジェナートの後ろ盾を得て、ヴァリス国王となる。

Gim ［ ギム ］

アラニア王国北部にある鉄の王国出身のドワーフ族の戦士。大地母神マーファの最高司祭であるニースと幼馴染で、スレインの親友でもある。灰色の魔女カーラに支配された、ニースの娘であるレイリアを取り戻すためにパーンとともに旅立った。頑固で一本気で優しい、典型的なドワーフの戦士。

Woodchuck ［ ウッドチャック ］

アラニアの盗賊で、若いころに盗みをしくじって22年もの間牢獄に囚われていたが、恩赦で釈放されたあと、パーン一行と行動をともにする。一行の中で世俗の事情にもっとも通じており、金銭と権力に執着する一方、情に厚い一面もある。

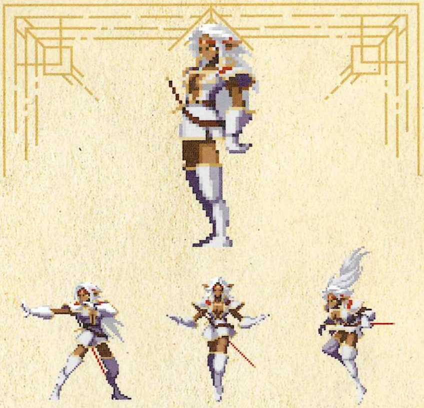
Slain ［ スレイン ］

アラニア王国の王都アランにあった賢者の学院で学んだ魔術師。ザクソンで隠遁生活を送っていたが、親友であるギムの求めもあって、パーンとともにザクソンを旅立つ。のちに“北の賢者”と呼ばれるようになる。

Illustration by 出渕 裕

Ashram ［アシュラム］

皇帝ベルドのもとで、近衛騎士隊を率いていた若き騎士。“黒衣の将軍”、“黒騎士”と呼ばれる。ベルド亡き後は、暗黒騎士団の団長となって、マーモ評議会に名を連ねた。もともとはアラニア王国の貴族の子息だったが、政争に敗れて親子ともどもマーモへ流された。英雄戦争後は皇帝を失って混乱に陥った帝国を立て直し、ベルドの遺志を継ぐため活動した。



Pirotess ［ピロテース］

アシュラム配下のダークエルフで、精霊使い。パーンのライバルであるアシュラムとは恋仲。光・善のパーン・ディードリットと対になるキャラクターとしてアシュラムとともに描かれる。アシュラムのことを一途に思い続け、彼の肉体の返還のために奔走した。

Illustration by 出渕 裕

Karla [カーラ]

常にロードス島の歴史の裏側にいる謎の人物。正体は不老不死の古代王国の魔術師。肉体を持たないカーラは、額冠をはめた者の体を支配しながら、500年余りロードス島の歴史を操って来た。

Beldo [ベルド]

魔神戦争で魔神王を討ち、“最も深き迷宮”から帰還した六英雄の一人。“赤髪の傭兵”の名で知られた英傑。かつては相棒の魔術師ウォートと放浪していたが、ファリス神官のフラウスに雇われ魔神戦争に参加。その後は、出身地であるマーモに戻り、闇の森のダークエルフらを従えて“暗黒皇帝”を名乗り、マーモ帝国を建国した。

King Kashue [カシュー王]

フレイム国王。元々は傭兵だったが、武勲はもちろんのこと、大陸の優れた技術を用いて生活を改善するなどの功績を称えられ、民の信頼を得た。風の部族の王を解放したことで王と認められ、フレイム国を建国。その勲功により、“傭兵王”の異名を持つ。戦士としての技量も抜きんでており、“剣匠”の二つ名でも呼ばれる。

Flaus [フラウス]

13歳の時にファリス神の啓示を受け、聖職に志願。自由都市ライデンにてベルドと出会い、ファリス神の啓示にあった「闇に閉ざされし英雄」がベルドであると確信。そのため「神の啓示」を優先してベルドに同行し、そのまま魔神戦争に身を投じる。やがてベルドを愛するようになり、最後は彼のために魔神王の攻撃を受け止め、帰らぬ人となった。そのため六英雄には含まれないが、“ファリスの聖女”の異名で広く知られる。

Record of Lodoss War

in LABYRINTH

ディードリット・イン・
ワンダーラビリンス

Record of Lodoss War
Deedlit in Wonder Labyrinth
SPECIAL BOOK

「ロードス島戦記」のメインヒロイン、ディードリットを主人公とした探索型2Dアクションゲーム。その世界観や美しいドットビジュアルを紹介。

Introduction

見知らぬ森で目を覚ましたディードリット。
ここがどこなのかもわからない。

ギムやスレイン、エトなどかつての仲間が現れては消える。そして最愛の人パーンの後ろ姿も……。

ほどなくして灰色の魔女カーラと出会う。

カーラによれば、"迷える存在"としてピロテースもこの迷宮に送り込まれ、ディードリットと対になる存在だと暗示される。

最愛の人アシュラムのため暗躍するピロテース。ディードリットはこの迷宮を探索し、戦い、一体何を見つけるのか――。

最深部にたどり着いたディードリットが出した答えとは？

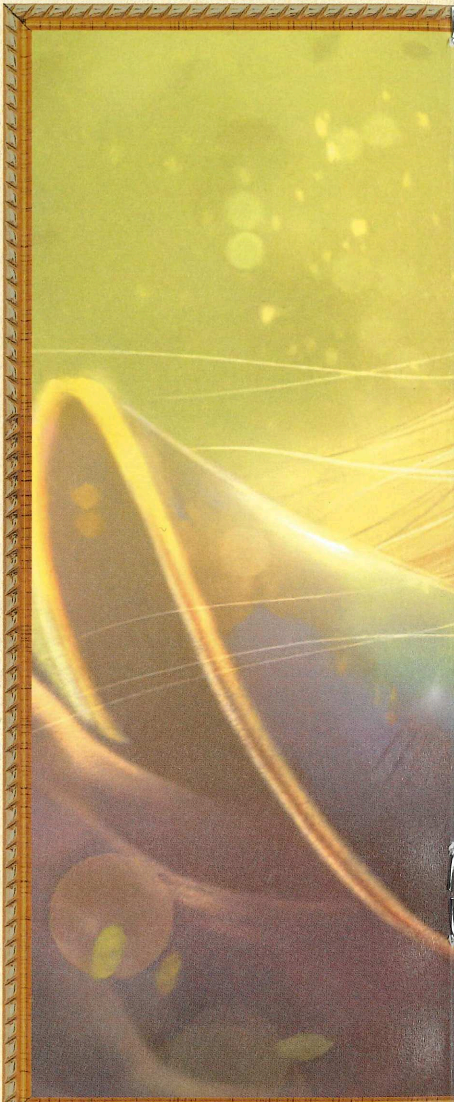
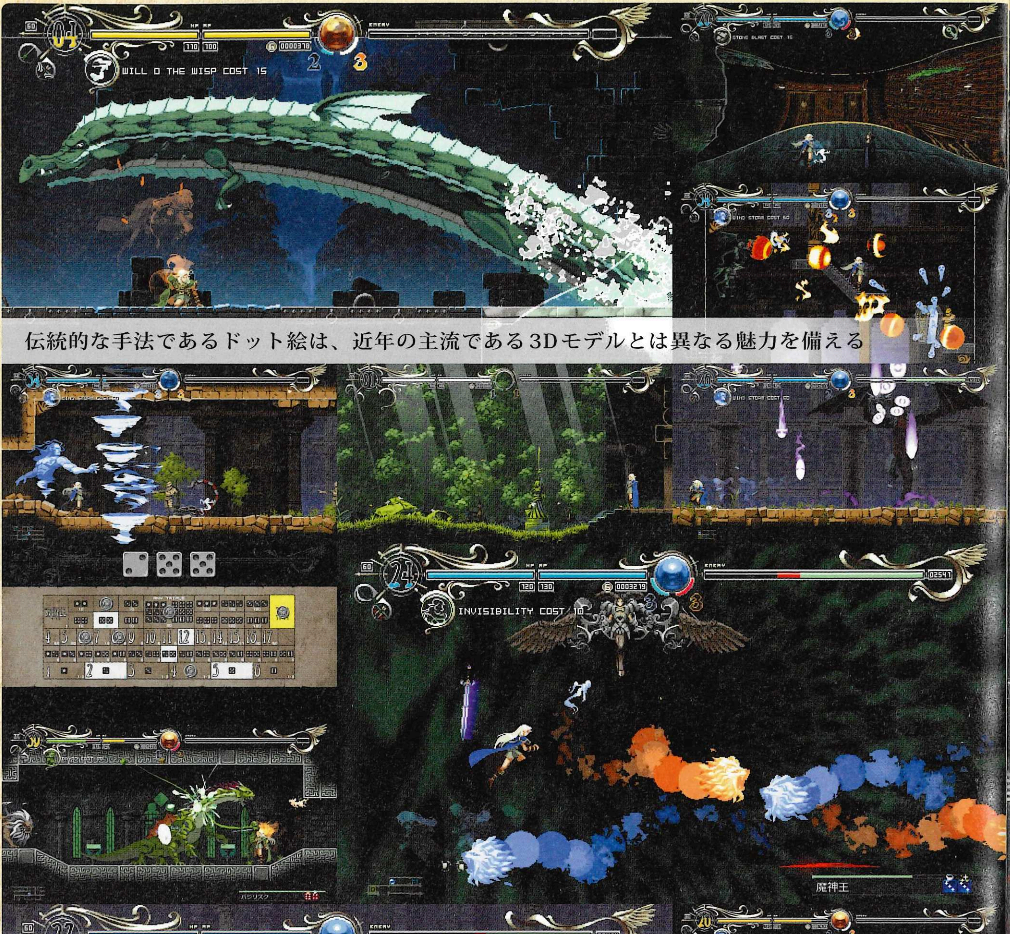


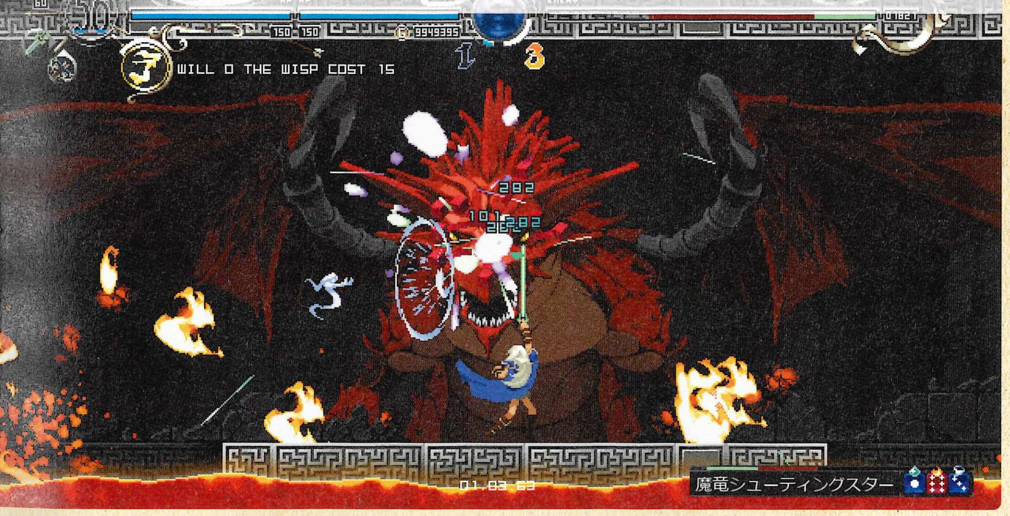
Illustration by 甲斐千鶴

アクション



伝統的な手法であるドット絵は、近年の主流である3Dモデルとは異なる魅力を備える

職人芸とも言える美しいドットアニメーションを堪能してほしい

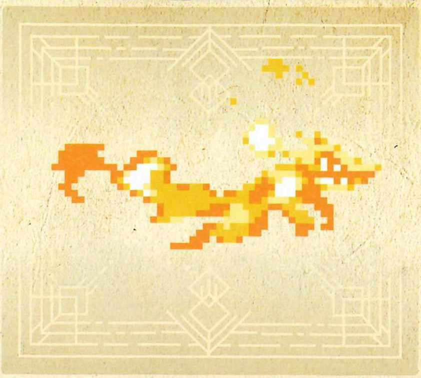


ドットビジュアル

ディードリット

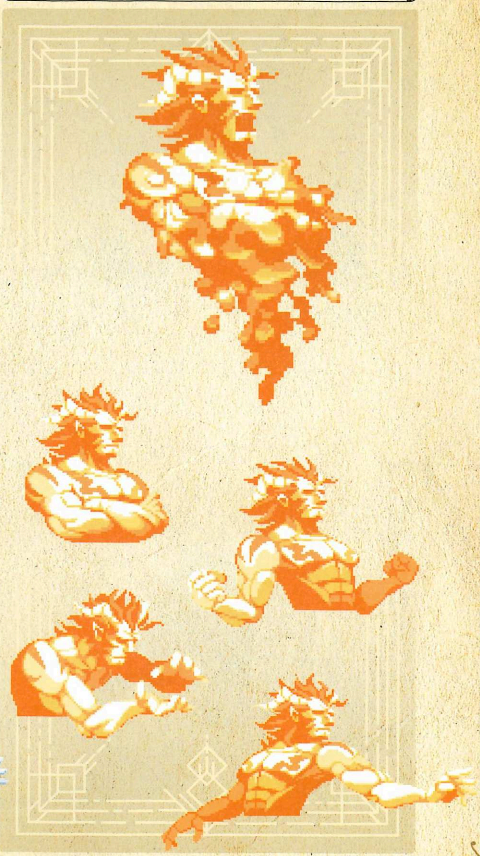
シルフ

サラマンダー



イルク

エフリート



インプ

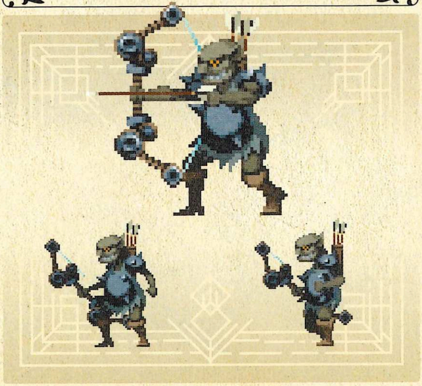
オブシディアン・ドッグ

ガーゴイル

グリフォン

コカトリス

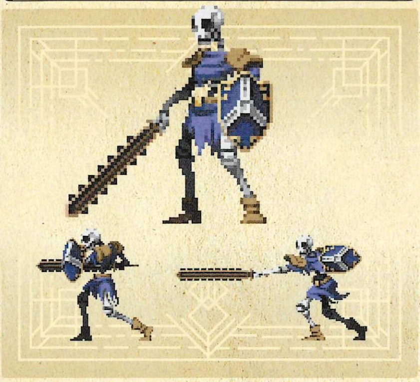
ゴブリン・チーフ



コボルド

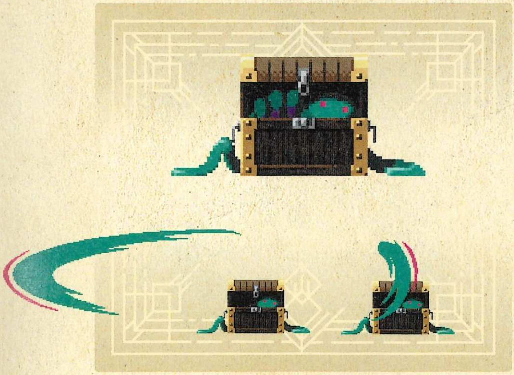
シャドウ・ストーカー

スケルトン



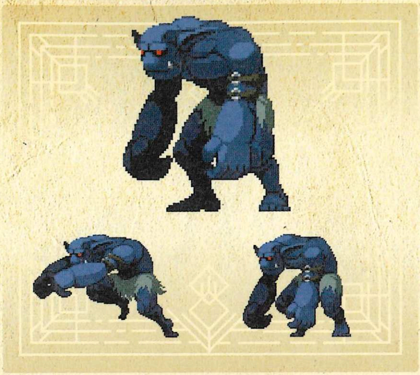
ダークエルフ

チェスト・イミテーター



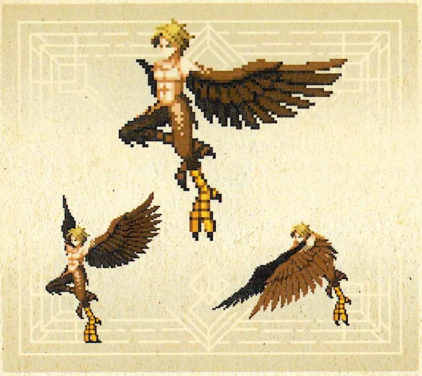
ドライアード

トロール

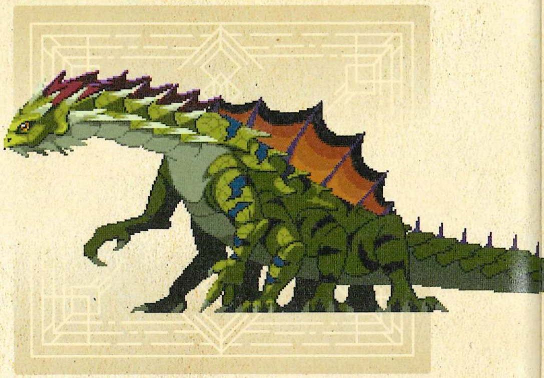


ノーライフ・キング

ディーラ・ハーピーキング



バジリスク



クロー・ビースト

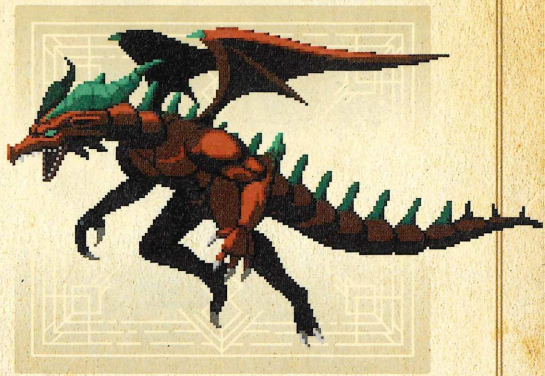
マミー

マンティコア

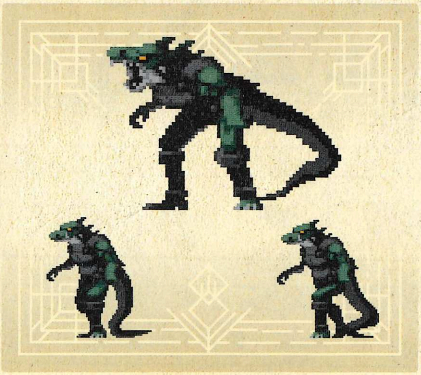
ミノタウロス

メデューサ

ラグナカング



リザードマン



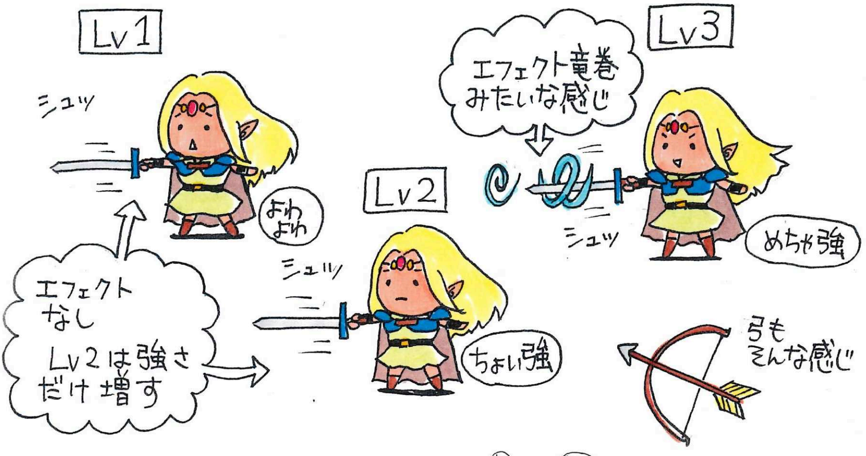
竜牙兵

精霊切り替えシステム

服の色を替える → 風 青
炎 緑??
赤はちょっと…どうでしょう??

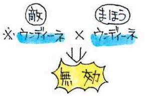
精霊レベル

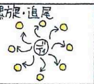
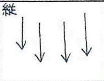
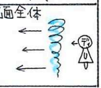
○精霊レベルは、1～3まで。Lv3でエフェクトかわる

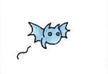


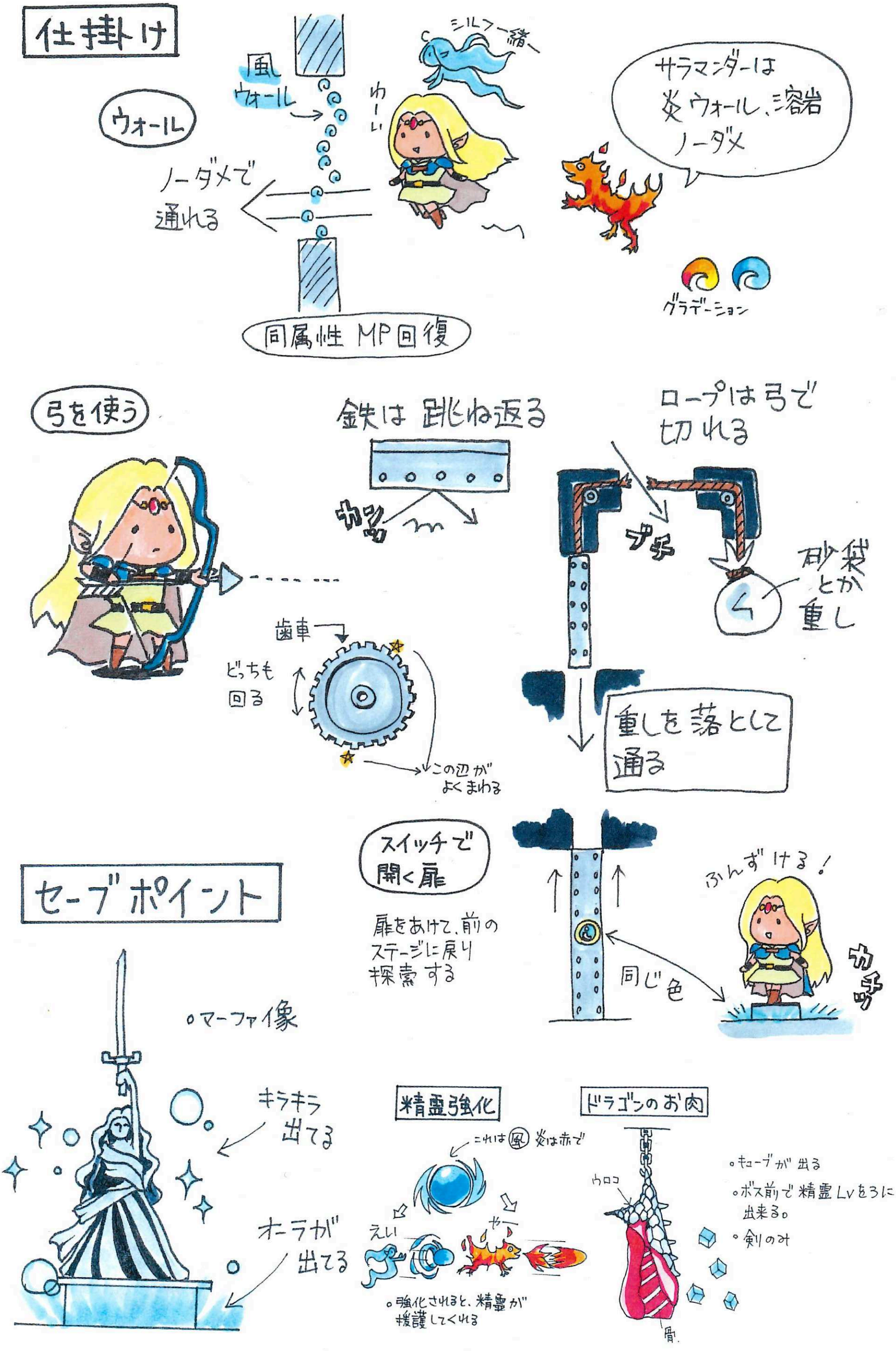
【精霊魔法】

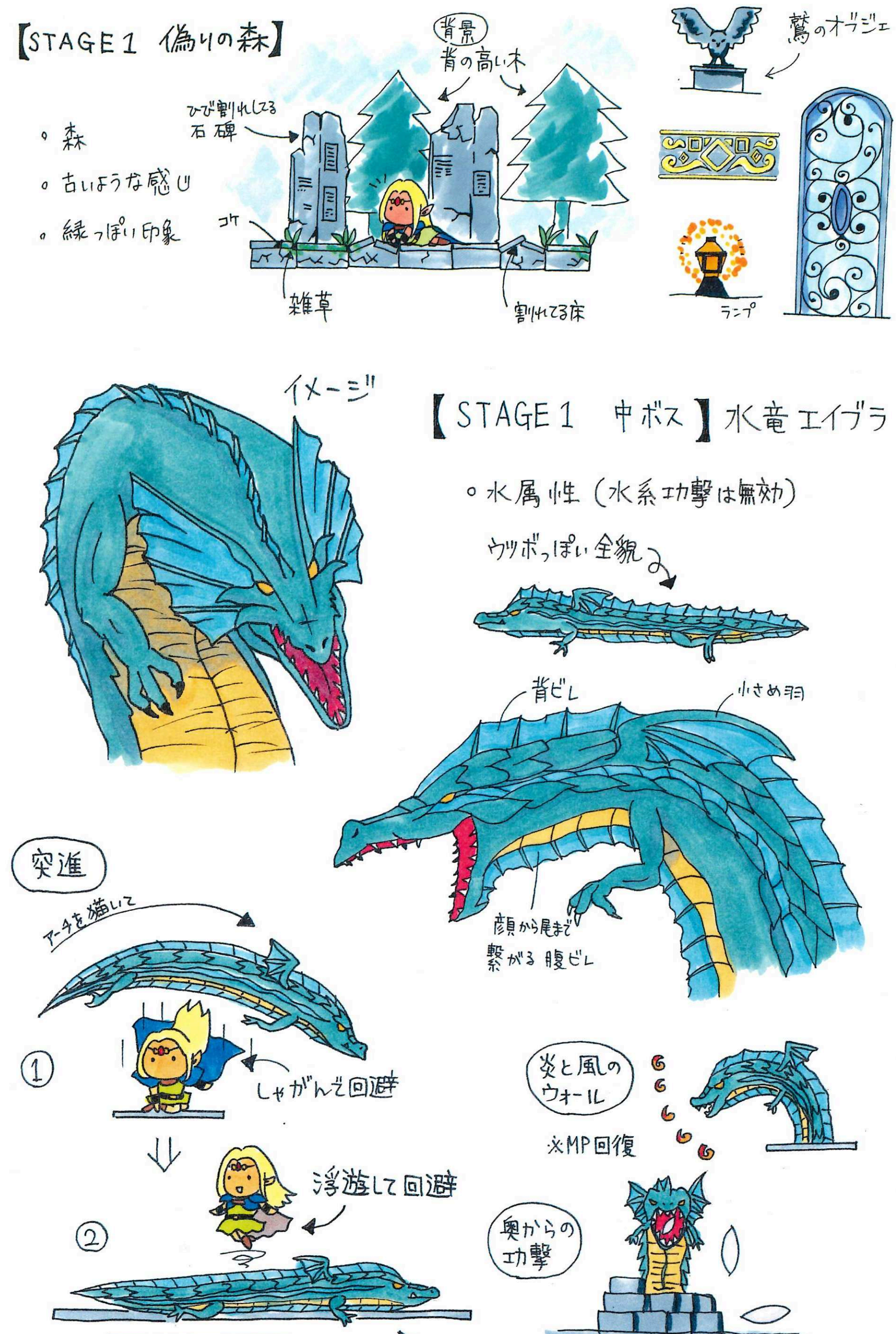
○敵と同じ種類の魔法は無効



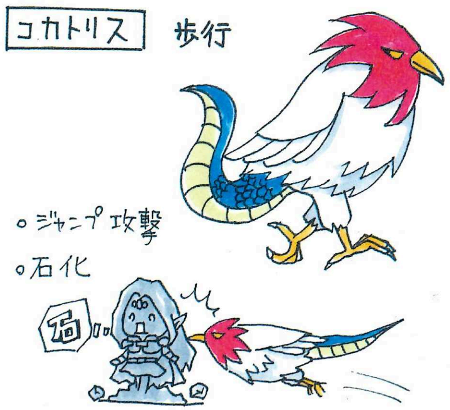
ウィル・オ・ウィプス	ウンディーネ	ストーンブラスト	ウィンドストーム
光	水	土	風
螺旋・追尾 	縦 	持ち運べる・追尾	画面全体 

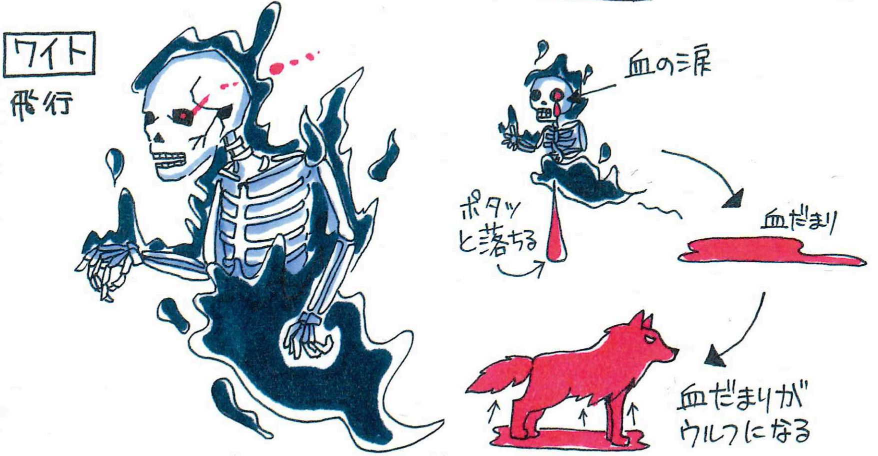
ファイアーストーム	シェード	ドライアド	インビジビリティー
			
火	闇	木	なし
爆破	横・少し追尾 闇時間中無敵	一点集中・リーチ長め	分身を作る

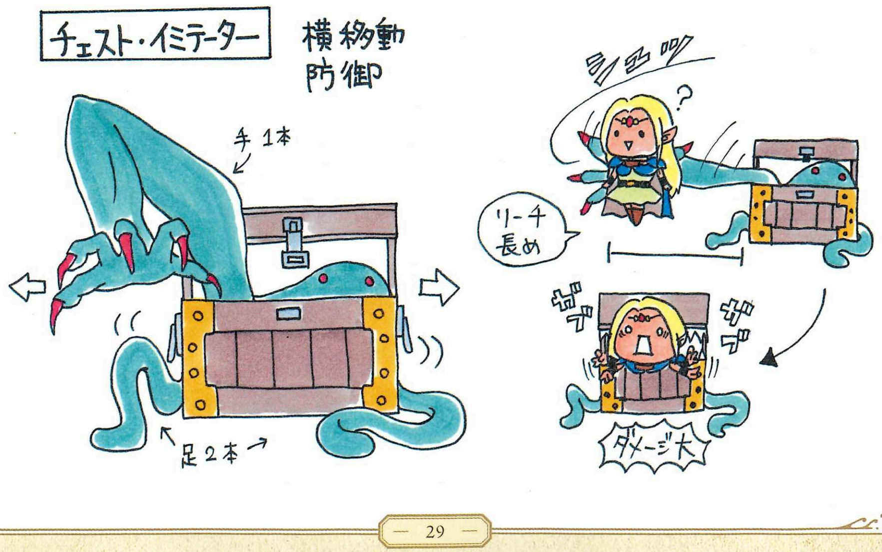

仕掛け
ウォール
風ウォール
シルフ一緒〜
わーい
ノーダメで通れる
サラマンダーは炎ウォール、溶岩ノーダメ
グラデーション
同属性 MP回復
弓を使う
鉄は跳ね返る
カッ
ロープは弓で切れる
ブチ
砂袋とか重し
歯車
どっちも回る
この辺がよくまわる
重しを落として通る
スイッチで開く扉
扉をあけて、前のステージに戻り探索する
同じ色
ふんずける！
カチッ
セーブポイント
。マーファ像
キラキラ出てる
オーラが出てる
精霊強化
これは風 炎は赤で
えい
やー
。強化されると、精霊が援護してくれる
ドラゴンのお肉
ウロコ
骨
。キューブが出る
。ボス前で精霊Lvを3に出来る。
。剣のみ


【STAGE1 偽りの森】
背景
背の高い木
ひび割れしてる
石碑
・森
・古いような感じ
・緑っぽい印象
コケ
雑草
割れてる床
鷲のオブジェ
ランプ
イメージ
【STAGE1 中ボス】水竜エイブラ
・水属性（水系攻撃は無効）
ウツボっぽい全貌
背ビレ
小さめ羽
顔から尾まで
繋がる 腹ビレ
突進
アーチを描いて
①
しゃがんで回避
②
浮遊して回避
炎と風のウォール
※MP回復
奥からの攻撃

インプ
飛行
自由に飛行
槍で攻撃


コカトリス
歩行
ジャンプ攻撃
石化
石


ワイト
飛行
血の涙
ポタッと落ちる
血だまり
血だまりがウルフになる


チェスト・イミテーター
横移動
防御
手1本
足2本
リーチ長め
ガブ
ガブ
ダメージ大

Record of Lodoss War

CONTRIBUTION | 特別寄稿

Record of Lodoss War
Deedlit in Wonder Labyrinth
SPECIAL BOOK

本冊子の制作にあたり、原作者である水野良氏と、『DiWL』を開発したTeam Ladybugの代表者から記念の特別寄稿をいただいた。

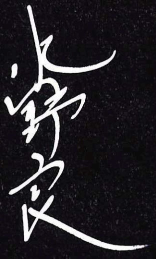
この度、拙著「ロードス島戦記」シリーズを原作とするアクションゲーム
「ディードリット・イン・ワンダーラビリンス」のパッケージ版がリリースされ、
PS4・PS5およびNintendo Switchでもプレイできることになりました。

関係者の御尽力の賜物と心より感謝申し上げます。
私もＰＣ版で遊んでみましたが、ゲームとして魅力的な要素が
ふんだんに盛り込まれていて本当に楽しめました。

また原作の世界観が巧みに取り込まれているので、
原作ファンにも満足いただけるものと思います。

私はアクションが苦手ゆえ、実はまだエンディングに到達していないのですが、
皆さんはどうか“永遠の乙女”ディードリットを導いて、
この不思議な迷宮から彼女を脱出させてあげてください。

そして、それは新たな物語の扉を開くことにもなることでしょう！



小学生の頃、自作のカードゲームを学校に持っていったところ、
それが瞬く間にクラス中で遊ばれるようになり、
最終的には別のクラスにまで派生する大ヒットとなり、
先生が禁止令を出したという出来事がありました。

思い返してみると、私が遊ぶ事よりも「遊ぶ場」や「遊ぶ物」を
人に提供する事を楽しむようになった根源かもしれないと思いました。

このゲームがたとえ大ヒットしても禁止されない事を願っています（笑)。

LADYBUG

水野 良 ｜ Mizuno RYO

『ロードス島戦記』原作者。雑誌「コンプティーク」（KADOKAWA刊）にて、TRPGリプレイ、『ロードス島戦記』をゲームマスターとして連載。のちに株式会社グループSNEの立ち上げに創立スタッフとして参加し、1988年に『ロードス島戦記　灰色の魔女』を発表して小説家となった。現在も精力的に創作活動を行っている。

Team Ladybug

汎用ゲームエンジンmogura engineを開発したプログラマー。2D横スクロールアクションを中心に、さまざまなゲームを制作。2019年にSteamでリリースした『Touhou Luna Nights』で高い評価を受け、本作『DiWL』を開発した。

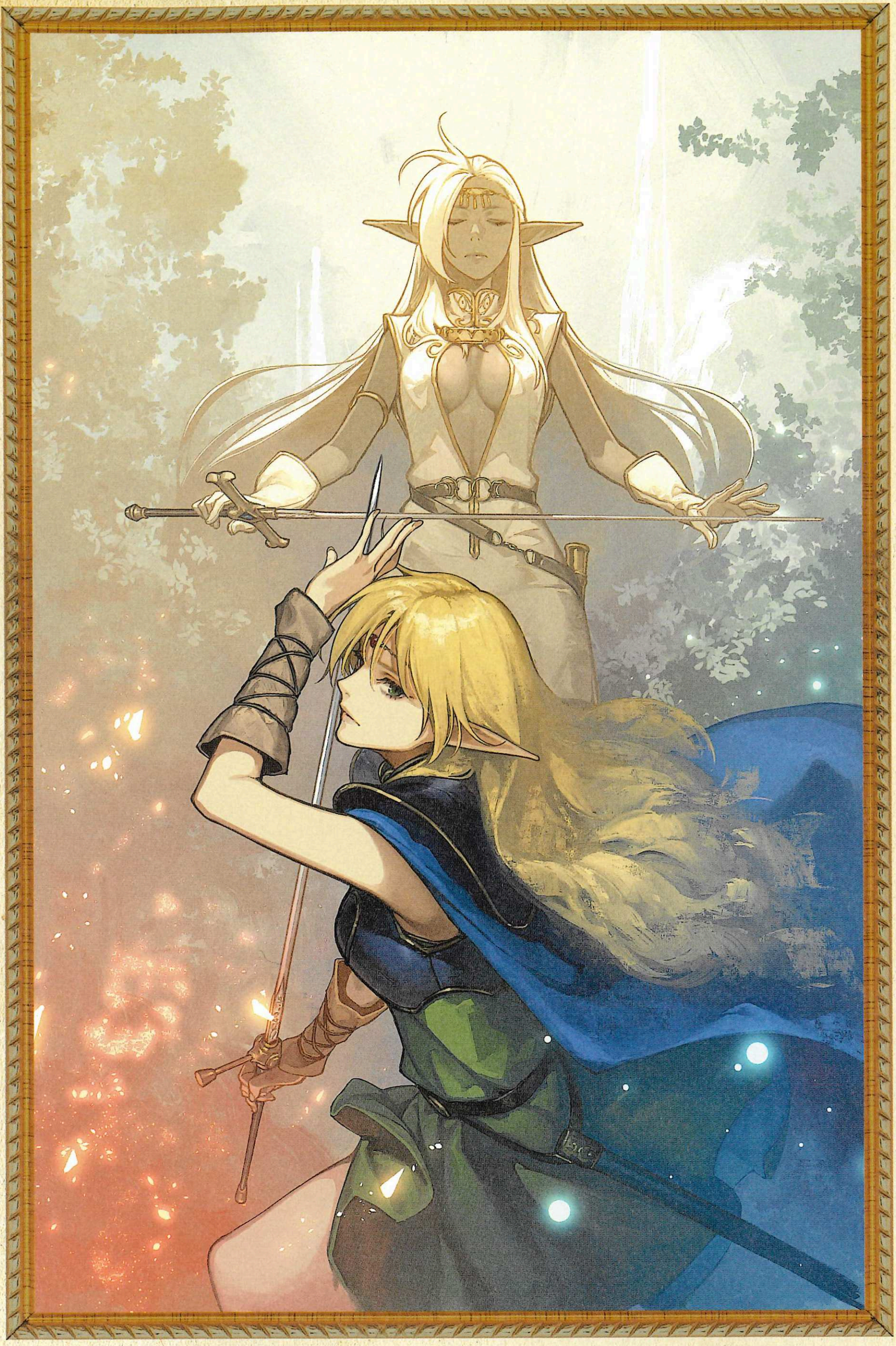


Illustration by 左

Illustration by 左

ロードス島戦記
ディードリット・イン・ワンダーラビリンス スペシャルブック

STAFF

制作
株式会社アクティブゲーミングメディア

編集／デザイン
株式会社KADOKAWA Game Linkage

原作
水野良
グループSNE

制作協力
出渕 裕
甲斐千鶴
左
WSS playground
Team Ladybug
株式会社KADOKAWA スニーカー文庫編集部

印刷所
図書印刷株式会社

Printed in japan

NOT FOR SALE

本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡および配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

Deedlit in
WONDER LABYRINTH
Record of Lodoss War

NOT FOR SALE ©水野良・グループ SNE/KADOKAWA/Team Ladybug・Why so serious?